

本部住所	〒420-0031 静岡市葵区呉服町1-3-14
県本部TEL・FAX	TEL 054-272-6811 FAX 054-272-6971
代表者名（設立）	執行役員・しずおか県本部長 飯田 知男 (2013年3月21日)
組合員数・事業高 (しずおか)	55万3,788人・584億2,358万円
ホームページアドレス	http://www.ucoop.or.jp/

指針1. 組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。

(1) 台風15号による配送困難地域への配達と大規模な断水への支援

静岡県中西部地域は、2022年9月に発生した台風15号に伴う記録的な大雨の影響によって、大規模な断水や停電、主要道路の陥落・土砂崩れにより集落が孤立するなどの災害に見舞われました。おうちCO-OPでは、配送が困難となった地域やその周辺道路の被害状況を確認しながら、商品をお届けしました。ミオクチーナ下野東店・八千代店（ともに静岡市清水区）では、営業再開に向けて職員・パート職員全員で店内の泥水の撤去・清掃作業を実施しました。また、ユーコープ職員が清水区の被災地支援活動に参加しました。



(2) 「ユーコープ感謝祭」を開催

自宅からインターネットや郵送で参加いただく「ユーコープ感謝祭」を2022年11月から2023年1月に開催しました。秋の新商品おためし企画やバイヤーのイチ推し商品紹介、クロスワードパズル企画、海外の生産者とのオンライン産地交流などバラエティあふれる4つのイベントを開催し、のべ4,722名の方にご参加いただきました。2022年度も新しい生活様式に対応した形での開催となりましたが、ユーコープの取り組みや商品のことを楽しみながら知っていただく機会となりました。



指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。

(1) 地域の拠点を目指して、13店舗（ユーコープ全体）がリニューアルオープン

組合員に気持ちよくご利用いただき、地域の拠点として暮らしに貢献し続けるために店舗の改装を行いました。静岡県内では7月にミオクチーナ新沢田店（沼津市）、11月に緑ヶ丘店（掛川市）の2店舗をよりご利用しやすくなるようリニューアルしました。



(2) 組合員のくらしを応援します

新型コロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻の影響、急激な円安などさまざまな要因により、近年にない原材料の価格高騰の影響から、食品や日用品の値上げが加速しています。そこで、全国の生協と協力して「毎日のくらしの中で利用される商品」を中心に価格を引き下げて提供する「くらし応援キャンペーン」（おうちCO-OP56品目、店舗255品目）に取り組みました。



指針3. 社会的役割を發揮します。

(1) フードドライブの取り組み

店舗で実施しているフードドライブについて「おうちCO-OPでも実施してほしい」という組合員の声に応え、11月・2月に分け全宅配センターの一部のコースで実施しました。また、店舗では例年通り8月と1月に各1カ月間、全店でフードドライブを実施。合計で17,607kgの食品を3県のフードバンクに寄贈しました。



(2) 「ウクライナ緊急支援募金」の取り組み

ウクライナの子どもとその家族を支援するため、2022年3月12日～4月10日に「ウクライナ緊急支援募金」を呼びかけたところ、6,375万7,425円もの募金が寄せられました。募金は日本ユニセフ協会を通じ、ウクライナ国内で支援を必要としている子どもとその家族への医療・保健、心身のケア、教育や周辺国に避難している難民への支援に活用されています。



(3) 平和の取り組み

「静岡県の本当にあったお話 平和の大切さを感じて～静岡空襲編～」の紙芝居を制作し、おうちCO-OPを利用している静岡県内68の児童クラブへプレゼントしました。自分たちが暮らす地域で起きた空襲を題材とした紙芝居は、夏休みの読み聞かせの時間に活用され、1,246人の児童が平和の尊さについて学び、多くの感想が届きました。



「おかげさまでユーコープは2023年3月21日に
10周年をむかえました」



たすけあいの輪をむすぶ

こくみん共済 静岡県労働者共済生活協同組合

全国労働者共済生活協同組合連合会 **coop**

本部住所	〒420-0839 静岡市葵区鷹匠2-13-4
代表TEL・FAX	TEL 054-254-1180 FAX 054-251-2659
代表者名（設立）	理事長 鈴木 隆博（1957年6月10日）
組合員数・事業高	478,460名・436億5,023万円
ホームページアドレス	https://www.zenrosai.coop/index.html

こくみん共済coop<全労済>静岡推進本部の取り組み

1. 推進活動

2022年度は「組合員・生活者に寄り添い、向き合い、身近な存在に」をテーマに、各種の取り組みを展開しました。

2. 災害対応

2022年9月に発生した「台風15号」は、静岡県内にも被害をもたらしました。多くの床上浸水被害に対し、ご自宅へ伺い現場調査対応を行ないました。また、2022年度は、新型コロナウイルス感染症による第7波・第8波の大規模な感染拡大により、みなし入院の請求が大幅に増加しました。

3. 社会貢献活動

(1) 保障点検・たすけあいアクション

2021年度に対応した「保障点検・見直しの保障相談」4,966件、「ショップ窓口でのプラスワン推進」4,221件、当会のオンラインサービス「マイページ」への「新規登録」3,642件、それぞれ1件につき50円を寄付することとし、2022年8月1日に「フードバンクふじのくに」へ650,000円を寄付しました。2022年度も、同様の取り組みを継続中です。

(2) 7才の交通安全プロジェクト

マイカー共済の見積もり1件につき1本の横断旗を寄贈する取り組みを行っています。2022年度は静岡県内50の小中学校へ2,420本寄贈いたしました。



こくみん共済 coop
公式キャラクター ヒットくん





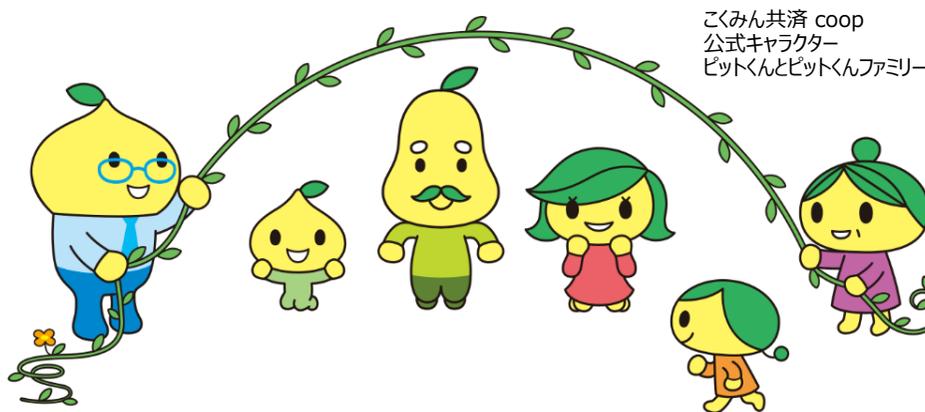
(3) こどもの**成長応援**プロジェクト

「団体生命共済（全員一律契約）」の新規導入・特約付帯・保障内容増額見直しの決定1団体につき「なわとび90本・長なわ10本」、「こくみん共済こども保障タイプ」の新規加入1件あたり「長なわ・なわとび1本」を寄贈する取り組みを行っています。2021年度の実績に応じて、「なわとび5,220本・長なわ580本」を寄贈します。

(4) 各地区共済会では、これまで社会貢献活動の一環として、共済会総会やイベント開催時に参加者から「未使用タオルの収集」を行い、2022年度は100本(4月時点)の未使用タオルを、県内1箇所の介護施設等に寄贈しました。また、「フードバンクふじのくに」へ食料品285個(72.196kg)を寄贈しました。

(5) **安心の保障と生活応援であなたの暮らしを支える** **こくみんLifeサポート** (2023年5月16日開始)

私たちの主力共済である「こくみん共済」が、その誕生から40周年を迎えます。この節目に、「スマートフォン専用アプリ」や「こくみんLifeサポート」のリリースなど、組合員のさらなるお役立ち・利便性向上を目指す新しいサービスをスタートしました。「こくみんLifeサポート」は、安心の保障を提案する「保障設計サポート」と、ライフイベント・生活全般のサービスを提供する「生涯設計サポート」で、組合員の生涯を、トータルでサポートするサービスです。



こくみん Life サポート



一人一人に寄り添った最適な保障設計をサポート
保障設計サポート



組合員特典価格等でもしもの事前・事後や生活全般をサポート
生涯設計サポート



静岡大学生生活協同組合

本部住所	〒422-8017 静岡市駿河区大谷836
代表TEL・FAX	TEL 054-237-2712 FAX 054-237-3205
代表者名（設立）	理事長 柴垣 裕司（1962年7月7日）
組合員数・事業高	12,733名・14億7,680万円
ホームページアドレス	http://www.shizuokaunivcoop.jp/

静大生協は2022年、創立60周年を迎えました

2022年、静大生協は創立60周年を迎えることができました。コロナ禍のため大きなイベント等は開催しませんでした。記念グッズとしてトートバッグを作成し学内に配布したり、60周年記念セールなどによる組合員還元を行いました。



□2022年度の経営結果

○事業の状況

2022年度は、対面講義が増えたことにより、食堂やパン米飯など食品事業は回復してきています。また、公務員講座や自動車学校なども利用が増えています。一方で、旅行事業は海外語学留学が回復の兆しをみせていますが、卒業旅行や学生サークルの合宿は未だに回復していません。

供給高は、学生が戻ってきたことによる好調な分野があった一方で、新学期パソコンや教職員の公費利用が減少したため、ほぼ前年並みで、予算を下回る結果となりました。事業経費は人件費のアップ、新レジ導入費用、水光熱費の高騰により、前年から大きく増加しましたが、予算は下回りました。

これらの結果、事業剰余金は1,426万円となりました。

大学生協の共済事業を、COOP共済連に事業譲渡したことに伴い、特別収入で「共済事業譲渡に伴う大学生協共済連整理益」が入った結果、当期剰余は1億4045万円となりました。

学食メニュー総選挙&サマーフェスタ

食堂で出しているメニューについて、主菜や丼など部門に分けて人気投票を行いました。バランスのいい食事のために人気の高かった小鉢を期間限定で特別価格で提供を行いました。

サマーフェスタでは、組合員の声カードを七夕の短冊形式にして、お店への要望だけでなく、いろんな学生の「願い」を書いてもらいました。「単位が欲しい」「内定ほしい」など、リアルな声もあり、来店動機にもつながりました。



健康安全企画 健康フェスタ&自転車無料点検

静大祭の企画として、健康フェスタを実施しました。

本企画ではアルコールパッチテストや泥酔体験、メニコンさんご協力の視力検査などを行い、静大生に健康に意識を向けて頂けるよう努めました。

自転車無料点検は恒例行事になっており、毎回参加していただく学生もいます。自転車の整備不良により、ケガをするだけでなく、ケガをさせるリスクもあることもアピールしています。

新入生歓迎企画

3年ぶりに対面形式での新入生歓迎企画を実施することができました。静岡、浜松あわせて合計400名近くの新入生が参加。当日は班ごとに静大の施設を回る「静大ウォークラリー」やテーマごとに先輩に相談できる「なんでも相談会」などを行いました。自動車学校の説明や食堂利用を通じて生協を知ってもらうとともに、新入生同士が交流する場として機能し、入学前の不安を解消することができました。





静岡県教職員生活協同組合

本部住所	〒422-8520 静岡市駿河区登呂6丁目14-27
本部TEL・FAX	TEL 054-282-2140 FAX 054-282-9992
代表者名（設立）	理事長 神谷 昇（1997年9月18日）
組合員数・事業高	28,095名・3億1,787万円
ホームページアドレス	http://www.kyousyokuin-seikyo.com/

（1）自主供給事業

- ・共同購入（一括）では、年12回（前年17回）職場や組合員宅にチラシを配付しました。前年より送料を抑え、各回の供給金額の平均がアップしました。
- ・組織供給では「女性部共同購入」と「一人一品利用運動」をそれぞれ年3回実施しました。「女性部共同購入」では、SDGsの取り組みとして、障害者福祉事務所のコーヒーセットを紹介し、利益の一部を「フードバンクふじのくに」に寄贈しました。「一人一品利用運動」は、東北お祭りフェア、北海道特集、年度末特価市等を行い、組合員証更新キャンペーン企画も行いました。
- ・巡回供給では、電解水素水整水器の実演紹介やカートリッジの買い替えキャンペーンを行い、供給を大きく伸ばしました。

（2）指定店事業

- ・優待割引等の特典がある指定店を紹介した「モバイル指定店商店街」を作成し、全組合員に配布しました。
- ・「指定店まつり」を開催し、協賛指定店を利用した組合員に抽選券を配布し、当選者に賞品の「グルメ・カタログギフト」をプレゼントしました。
- ・指定店の利用促進に向けて、STCニュース、マイページ、ホームページ等を活用し、タイムリーな情報発信に努めました。

（3）ガソリン事業

- ・教職員生協の組合員証は、そのままガソリンカードとして提携するスタンドで利用でき、利用代金は、給与からの天引きや口座引落により支払いができます。
- ・ガソリン価格の高騰により、利用金額は前年とほぼ同額ですが、利用人数は減少傾向にあります。

（4）組合員参加事業

- ・やまめ平（釣り堀：島田市）にて「親子やまめ釣り大会」、焼津市総合体育館にて「桐生祥秀選手 かけっこ教室&トークショー」を開催し、大いに楽しみながら教職員生協の事業、活動への理解を深めていただきました。



(5)ハウジング事業

- ・2022年3月末現在、21社のハウスメーカーと提携しています。割引特典があり、新築やリフォームなど、組合員のニーズにお応えしています。
- ・教職員生協主催の「住まいの見学会」を、6月に43会場、10月に35会場、2月に36会場で開催しました。

(6)マイページ

- ・デジタル化の時代に対応すべく、2017年度からマイページの運用を開始しました。スマホの簡単操作で、デジタル組合員証の表示、指定店の確認、イベント情報やWEB限定商品の紹介、請求明細の閲覧、指定店の確認、ガソリン価格やスタンド検索等、組合員へのさらなるサービスの向上に努めています。
- ・「当たるかもキャンペーン」を実施し、「マイページ登録者限定、当選確率3倍」を行い、登録促進を行いました。
- ・「気まぐれショップ」のコーナーを新たに掲載し、利用促進を図りました。

(7)教育文化事業

- ・日本南極地域観測隊の越冬隊員経験者が、自身の体験を語る出前授業「南極クラス」を行い、本年度は28小中学校で開催しました。
- ・「自作教材・教具創作助成」として、教職員の日頃の教育実践に対して助成金を贈呈しました。
- ・静岡県教育事業団体の共催事業として、小学校入学前後の生活習慣や学習習慣等を冊子にまとめた「これで安心!!新1年生」を作成し、新1年生を持つ保護者と公立幼稚園に無償で配布しました。

(8)社会貢献活動

- ・エコ活動及び地球温暖化防止策の一環として、平成23年7月から電気の使用量が分かり監視する「デマンド監視装置」を導入しています。導入により役職員の節電意識が高まっています。
- ・営業車両すべてに「学校安全パトロール」のステッカーを貼付し、子どもたちを守る活動を推進しています。
- ・古紙循環取引プロジェクト(ケ-ズド リサイクル)を行い、社会福祉法人の雇用促進や給料アップ等に結び付くなど、社会貢献活動を併せ持つリサイクル活動となりました。
- ・静岡県学校生活協同組合連合会と共催し、静岡県内の公立小中学校(校長・教頭)にSDGsカラーホイールピンバッジを寄贈しました。また、生協役職員はSDGsのバッジやストラップを身に付けて啓発活動の一環としました。



スズキ生活協同組合

本部住所	〒432-8065 浜松市南区高塚町300
代表TEL・FAX	TEL 053-447-3358 FAX 053-449-2961
代表者名（設立）	代表理事理事長 大橋 滋男（1963年3月25日）
組合員数・事業高	20,994名・7億1,948万円
ホームページアドレス	http://www.suzuki-seikyo.jp

スズキ生協は、スズキ(株)グループ従業員の出資により、組合員の皆様のより豊かで快適な暮らしを実現できるように福利厚生の一翼を担い、売店(16店舗)・自動販売機・職場内共同購入・指定店等の各事業を運営しています。

【2022年度活動報告】

令和4年度の我が国経済は、コロナ禍による影響を受けたものの、経済活動の活発化がみられました。自動車製造を母体とする弊協では、間接部門者のテレワークから出社勤務への増加、半導体不足による生産の縮小が解消されたことによる組合員の出社率の上昇で、来店者数の増加（前年比102.4%）となりました。そのような中で、「Suzuki Sprouts」（組合員向けECサイト）での販売促進拡大により、時流とニーズに合った供給に取り組んでいます。また、売店では全国の銘菓を中心としたイベント販売とスズキグッズの取扱強化に取り組んできました。その結果、供給高は、719百万円（予算比103.0%、前期比107.7%）、経常剰余金は45百万円（予算比115.1%、前期比129.4%）となりました。

<<部門別の主な活動実績>>

(1) 魅力溢れる売店づくり

- ①組合員のご要望取入れ⇒ 生協推進委員会を书面・WEBでブロック別を実施
- ②品揃えの強化⇒ 全国・地元の有名品イベント販売（延べ340回実施）
スズキグッズ・スズキ農園の商品販売拡大
- ③売店内の美化⇒ 売店職員・地区担当者による売店改善（本部による売店実査実施）
安全対策 ⇒ 新型コロナウイルス感染症対策の継続実施
- ④売店運営の柔軟な変更⇒ 売店職員の柔軟な配置と人員・勤務時間の調整



浜松売店内

(2) 自販機の管理

- ①ご要望に応じた設置⇒ 増設3台、撤去3台
- ②自販機商品の還元セール⇒ 3月1日～31日実施

(3) ECサイト「Suzuki Sprouts」の運営

全国銘菓・果物・野菜やスズキグッズの斡旋によるサイト充実と登録会員の増進

(4) 業務改善とレベルアップ

- ①全員提案による改善⇒ 209件（作業効率改善76件、経費削減策3件、販売促進策130件）
- ②外部生協との交流⇒ 日生協職域協議会・県生協連理事会・4生協研究会 書面、WEB会議実施

(5) 法令等の遵守

消費税インボイス制度への対応⇒ 各種WEB講習会への参加、登録番号取得、取引先への確認

(6) 新型コロナウイルス対策

- ①予防対策⇒ 飛沫防止・換気・消毒対策強化、職員の体調と行動履歴の徹底、時差出勤と地区担当者の出発前倒し
- ②陽性者・濃厚接触者の対応⇒ PCR自主検査の実施と売店欠員補充

今後の日本経済は、世界的な政情不安や円安と著しい物価上昇の継続が予測されます。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う変化も見られます。そのような中で、私たち生協は、組合員ファーストの姿勢で社会の変化に対応し組合員のニーズに合った運営とサービス向上に努めます。





生活クラブ生活協同組合 (静岡)

本部住所	〒410-0062 沼津市宮前町21-4
本部TEL・FAX	TEL 055-923-4828 FAX 055-922-6153
代表者名 (設立)	理事長 平山 和美 (1987年11月25日)
組合員数・事業高	4,114名・10億4,426万円
ホームページアドレス	http://shizuoka.seikatsuclub.coop/

- ・新たな個配展開エリアを静岡市安東中学校区とし、拡大目標60人、2023年7月から配送開始を目指すことを決定しました。
- ・春の一斉班会は5月2日～7月1日に開催。班会のテーマは「お袋米の利用促進」と「ローカルSDGs」で実施しました。
- ・秋の一斉班会は（10/3～11/30）のテーマは「年末年始取り組みについて」で実施しました。
- ・GMナタネ自生全国調査活動を実施しました。2022年3月～5月に各支部5カ所計49地点での調査を実施し、清水港付近で1カ所陽性反応が出ました。
- ・東日本大震災復興支援活動として、ふくしま、栃木の子ども支援企画「リフレッシュツアーin静岡」を9月23日（金）～26日（月）に実施しました。
- ・協同組合間提携推進協議会女性交流会に参加しました。

静清センター浸水被害について

9月23日から9月24日にかけて静岡県付近を通過した台風15号による大雨の影響で、静清センターは近くを流れる巴川の氾濫により浸水被害を受けました。配送車両やセンター機能に必要な設備のほぼすべてが水没して使用できなくなりました。そのため静清センター機能を一時停止し、配送は沼津センターから行い電話などの問い合わせも沼津センターで行いました。

被害状況と今後の復旧に向けた見通し、静清センターへの電話連絡などをお知らせするため、組合員1人1枚でニュースを配布しました。

組合員と職員で復旧作業の結果、10月10日（月）配達分から物流機能の再開、11月21日（月）からセンター機能を全面再開しました。しかし、配送トラックは3台とも使用できなくなり、生活クラブ連合会へ支援を要請した結果、神奈川単協から2台、6か月間（2022年9月～2023年3月）、埼玉単協から1台、3か月（2023年3月～6月）貸与の形で支援をいただきました。この他、静岡県生活協同組合連合会、生活クラブ連合会、生活クラブ親生会、静岡親生会、他、支援をいただきました。





生活協同組合パルシステム静岡

本部住所	〒417-0801 富士市大淵2297-8
代表TEL・FAX	TEL 0545-37-1800 FAX 0545-37-1811
代表者名（設立）	理事長 大信 政一（2007年4月2日）
組合員数・事業高	41,694名・49億193万円
ホームページアドレス	http://www.palsystem-shizuoka.coop/

ウクライナ人道危機緊急募金

ロシア軍のウクライナ侵攻により危険にさらされる市民のいのちと人権を守るため、パルシステムグループとして「ウクライナ人道危機緊急募金」に取り組み、14万人以上の組合員から総額1億6,697万5,065円（静岡262万6,808円）の募金が寄せられ、国連UNHCR協会をはじめとする、6つの支援団体に配分しました。

トルコ・シリア地震緊急支援募金

トルコ南東部を震源とする地震被害により被災した人たちへの緊急支援を目的とし、「トルコ・シリア地震緊急支援募金」に取り組み、延べ92,202人の組合員から総額9,713万1,253円（静岡159万5,686円）の募金が寄せられ、一般社団法人ピースボート災害支援センターをはじめとする、7つの支援団体に寄付しました。

パルシステム給付型奨学金

学びたい若者の未来を支えるパルシステム給付型奨学金制度は、2022年4月1日から2023年3月31日までのパルシステムグループ組合員募金総額は4,418万9,176円（静岡70万7,168円）となり、これをもとに静岡からの推薦を含む18名の学生への給付が実現しました。



食の安全をめぐる地域連携

2022年10月に発足した「静岡県オーガニックプロジェクト（現：しずおかオーガニックウェブ・ゲノム編集表示プロジェクト）」へ発起人・賛同団体として参加し、静岡県下の35全市町教育委員会へ「ゲノム編集トマトの無料配布の苗を受け取らないでください」との要望書提出をすすめ、2023年1月26日に全市町への提出が完了しました。

【回答】受け取らない・・・22市町 受け取る・・・0市町 その他・・・13市町

生活困窮者支援・食品ロス削減をめぐる地域連携

総計1,972Kgの食品を生活困窮者支援団体へ寄贈しました。

①パルシステム予備青果提供・・・1,400kg

寄贈：NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡、シングルペアレント101

②フードドライブ、大雪による未供給商品・・・200kg

寄贈：NPO法人POPOLLO、NPO法人青少年就労支援ネットワーク静岡、おたまちゃん食堂

③商品の寄付

寄贈：NPO法人POPOLLO「しまだ夏休み子ども食糧事業」

環境をめぐる地域連携

環境をマイクロプラスチック問題を知り、身近にできる活動を考える機会として、あさはた緑地公園スタッフによる「くじらの9ちゃん人形劇」や任意団体ふあんふカンパニーと連携し、「ビーチクリーンとマイクロプラスチック取り出し体験」を開催し、延べ67名が参加しました。

商品展示会

袋井センター管轄組合員向けに、商品を実際に試す機会となる第13回商品展示会「パルシステム*フェスタ in 浜松」を3年ぶりに開催しました。合計17ブースが出展、感染対策に考慮し、完全予約制にて合計483名の方が来場しました。





浜北医療生活協同組合

本部住所	〒434-0034 浜松市浜北区高畑18
代表TEL・FAX	TEL 053-585-5715 FAX 053-584-1551
代表者名（設立）	理事長 間間 元（1997年9月16日）
組合員数・事業高	4,664名・4億9,916万円
ホームページアドレス	http://www.mcp-hamakita.jp/

新型コロナの猛威の中、職員の奮闘と組合員の協力で事業を継続しました。特に第7波第8波の猛威は、診療所・福祉介護事業所を直撃しました。

ほぼ全事業所で職員の感染や濃厚接触者指定など職員の欠勤により勤務体制はひっ迫し、事業継続がギリギリの状況でした。

学び・研修

全国の医療生協との学習交流は、コロナ禍で現地に行くことが制限される中、オンライン研修を活用して、沖縄医療生協（6月）郡山医療生協（9月）福山医療生協（2月）と実施することができました。たすけ愛ネット（家事支援組合員ボランティア活動）は、病院への付き添い等の要望も多く、業務車両の貸出制度を活用してお出かけ支援が増えています。



健康づくりチャレンジは過去最高人数の参加者432名（昨年395名）となりました。交流会は9支部毎に開催され、参加者は149人（うち未組合員13人、職員29人）で経験を交流し元気の出る場となりました。

職員講師による出前講座（21講座メニュー）を生協強化月間期間に全支部で開催するなど、年間では18回開催、参加者は延べ306人でした。健康まつりは、大規模会場開催はせず、小規模の複数企画の開催とし、学習講演会や屋外のウォーキング企画などを実施しました。

県生協連のフードドライブの活動（夏・冬）に参加しました。冬季の方が量も多く、1月は段ボール箱4箱分の食材が寄せられました。

18歳までの医療費窓口無料化の国会請願署名に取り組みました。

5月平和行進、6月沖縄本土復帰50年の沖縄医療生協とのオンライン交流会、8月原水禁世界大会ヒロシマデー、9月焼津集会、11月ひまわり集会、3.1ビキニデー集会など、1年を通して平和・核兵器廃絶の活動を行いました。





あいち生活協同組合

本部住所	〒457-0041 名古屋市南区薬師通り1-14
代表TEL・FAX	TEL 052-821-2010 FAX 052-821-2388
代表者名 (設立)	理事長 寺西 道治 (1989年9月1日)
組合員数・事業高 (浜松地区)	7,962名・8億1,546万円
ホームページアドレス	http://ichoice-coop.com/

中期計画スローガン「最大になるより最高の生協へ」 の実現現達成に向けて

2021年から2023年まで、組合員の皆さんと一緒に考えたスローガンを目指し、組合員・生協役職員一丸となって様々な取り組みを行なっています。

スローガン実現のため、具体的な3つの活動ビジョン「食と農」「学ぶ」「くらし」を設定し、それぞれのテーマの中で生協活動が行われ、それを「みんなで会議（ビジョン推進会議）」の中で進捗確認していく姿を理想として進めています。

2022年度は、みんなで会議を年3回開催しました。活動グループの報告やテーマ別のグループワークを行い、意見交換をしながら企画の実現に向けた話し合いが行われました。中期計画の7つのテーマ（第2回目より6つのテーマ）に沿った内容で実現できることの協議を行いました。各テーマのファシリテーターのまとめ方やテーマの内容によって、進行具合に差が生じてしまいました。3月には第3回を開催し、この回にて、全テーマの案を具体化することで、進行具合の調整をして、2023年度の実現に向けて繋げていくことができました。

平和企画 ～過去に学び未来を創る～

コロナ感染症の収束に併せ、8・10・3月の3回、コロナ感染リスクを考慮した「日帰りで行く！広島」企画を開催し、合計42名の親子が参加されました。帰りで時間に限りがあったため、あわただしい内容となりましたが、企画数を増やしたことで間口を広げることができました。



学ぶ ～交流 作りて作る手未来につながる手～

生活スタイルの多様性に対応するためのオンライン開催を実施しつつ、コロナ収束に併せ、会場開催にて組合員の声を実現する企画を実施することができました。13企画29開催（会場開催10企画、オンライン又はハイブリット・サテライト開催2企画）を行い、延べ200名が参加されました。新たな取り組みとして、「組合員の声を、組合員と具現化する」事を目的とし、尾張会場、西三河、東三河、遠州 各1会場のエリアに分け「組合員さんいらっしゃい企画」を実施し、組合員が実現したい企画を直に聞き取り、その声から「毛糸を染めてアクセサリーを作ろう」「もっとお味噌！やっぱり岡崎！（まるや八丁味噌蔵見学）」「知って安心！食品添加物って」「シガポートリー工場見学・試食学習会」「スマホでネット注文してみよう！」の企画を、組合員も参画する形で開催することができました。また、開催企画は組合員によって編集され、その動画をYouTubeに投稿しました。



食材セット
アイチョイスに選んだ野菜をなるべく用いた、おかず調理セット。カット済み野菜と肉や魚のメイン食材、そして入れるだけで簡単に味が決まる秀逸なタレ付き！調理は15分ほどが中心です。親子丼などの身近な一品から、エスニック、イタリアン、鍋やスープまで、年間500ほどの献立が登場。自分では思いがちな組み合わせや味付けに、食卓づくりのヒントになるという声も。

食と農 ～商品 あなたにピッタリ愛チョイス～

生協のミールキットの供給高は7億2759万円＝総供給高の4.7%、利用人数割合16.9%、週16,875点、平均利用点数1.92点でした。5月3回で10周年記念のキャンペーンを行い、通常企画の約1.4倍の組合員にご利用いただきました。また、11月3回の第2弾のキャンペーンでもそれに次ぐ多くのご利用をいただきました。また、新工場の建設も順調に進み、23年度5月より商品製造をスタートしています。

食と農 ～安全安心 おいしい安全ワンランク上のMyチョイス～

アニマルウェルフェア強化月間として、カタログ表紙2回、別チラシを1回取り組みました。特に別チラシは1人でも多くの組合員の目に留まるようにカタログ不要者にも配布しました。また、里山牛の取引先「さかうえ」の中川さんに依頼し、7月にリモート学習会を開催しました。



静岡県生活協同組合連合会
〒420-0031 静岡市葵区呉服町1-3-14 YS呉服町ビル8F
TEL 054-253-5987 FAX 054-272-6971

2023年8月